

第4章 防災啓発・教育活動

1. 平成23年度 あいぼう会活動報告

あいぼう会事務局 王欣

1. 活動内容と年間スケジュール

2011年度のあいぼう会の活動は、これまでの目的である「企業の災害に対する被害の軽減、復旧の迅速化」を継続し、月1回（毎月第4水曜）、愛知工業大学本山キャンパスにおいてあいぼう会を開催した。防災セミナー、防災ワークショップ・防災サロン、見学会、勉強会、講演会を柱とした活動を積極的に行い、災害に関する知識の修得、会員相互の交流、切磋琢磨をはかった。運営委員会および本年度より設置された運営協議会を開催し、会の運営を審議しながら活動を行った。以下に活動内容とスケジュールを示す。

日期	例会	運営委員会	防災セミナー	防災サロン・WS	勉強会/ 講習会	運営協議会	見学会	懇親会/ 新年会
4月27日	○							
5月25日		○						
6月22日		○	○	○				
7月27日							○	○
8月24日		○	○	○				
9月28日		○	○	○				
10月26日				○	○	○		
11月30日		○	○	○				
12月21日		○	○	○				○
1月25日							○	
2月22日		○	○	○				
3月28日		○		○	○	○		
合計回数	1	8	6	8	2	2	2	2

2. 例会（年度一回）

2011年4月27日（水） 13：00～17：00

➤ 第1部：講演会 「東日本大震災について」

第1部では、あいぼう会会長（愛知工業大学正木和明教授）挨拶、愛知県防災局来賓挨拶に続いて、あいぼう会会長により「東日本大震災について」、愛知工業大学小池則満氏准教授により「津波被害および震災廃棄物処理についての現地調査報告」の講演が行われた。

➤ 第2部：2011年度 防災ワークショップ最終報告会

第2部では、あいぼう会運営委員長内藤克己氏挨拶に続き、あいぼう会2010年度防災ワークショップ成果報告が行われた。第1WS：西山美紀夫班長が「企業防災取り組み事例集」、第2WS：古瀬勇一班長が「災害リスク情報の企業防災活用」、第3WS：内藤克己班長が「あいぼう会版 防災力検定」について報告した。

➤ 第3部：2011年度 総会

第3部では、正木会長挨拶に続き、あいぼう会規約改正・2010年度活動報告・2010年度会計報告・2011年度活動方針・2011年度予算案が提案され、これらについて審議・決定された。

➤ 第4部：情報交換会「東日本大震災について」

第4部では、早川澄男副運営委員長挨拶に続き、情報交換会「東日本大震災について」を行った。最後に、今井則久副運営委員長により閉会の辞が述べられて、2011年度あいぼう会例会は閉幕した。

3. 勉強会・講習会（原則年度各1回）

- 2011年度勉強会（通算第4回）：2011年10月26日（水） 13：00～14：20
AED講習会をNPO法人あいち防災リーダー育成支援ネット早川澄男講師の指導で実施した。
- 2011年度講習会（通算第9回）：2011年5月25日（水） 13：00～14：20
「三菱MMS（モバイルマッピングシステム）高精度GPS移動計測装置」について三菱電機（株）により紹介が行われた。
- 2011年度講習会（通算第10回）：2012年3月28日（水） 13：00～14：20
「名古屋工業大学高度防災工学センターの今後の取り組み」について、名工大高度防災工学センター長張鋒教授により紹介が行われた。

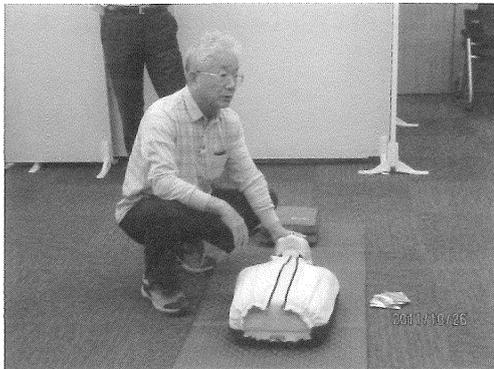


写真1 AED講習会風景

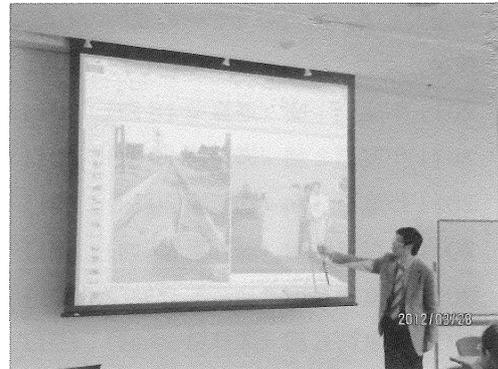


写真2 第10回講習会

4. 見学会（年度2回）

- 2011年度第1回（通算第10回）：2011年7月27日（水） 13：00～17：00
豊田消防本部（豊田市）を訪問し、展示館の見学およびレスキュー隊の訓練の様子を見せていただいた。
- 2011年度第2回（通算第11回）：2012年1月25日（水） 13：00～17：00
中部航空地方気象台を訪問し、空港周辺の気象と運航に関する説明を聞いた。中部国際空港（セントレア）のメインビルを訪問し、空港ビルの安全対策を見学した。エネルギーセンターを訪問し、空港内を一括的に管理するエネルギー供給システムを見学した。



写真3 豊田消防本部見学風景



写真4 セントレア見学風景

5. 防災セミナー

2011年度から始まった防災セミナーでは専門委員、アドバイザーの方に依頼して、所属する企業・自治体における防災対策について紹介していただいた。

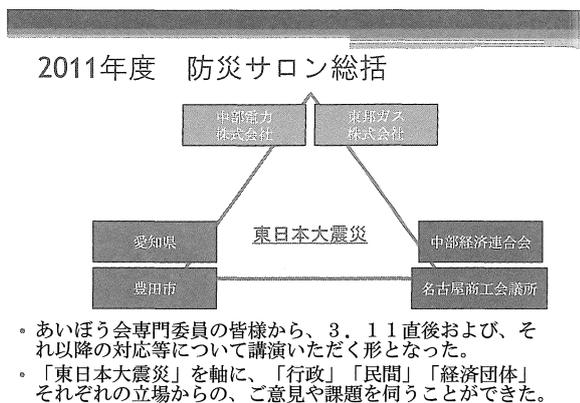
- 2011年度第1回（通算第1回）：2011年6月22日（愛知県防災局、大井治講師）
- 2011年度第2回（通算第2回）：2011年8月24日（（一社）中部経済連合会、山田茂講師）
- 2011年度第3回（通算第3回）：2011年10月26日（東邦ガス㈱、河津博史講師）
- 2011年度第4回（通算第4回）：2011年11月30日（名古屋商工会議所、近藤英彦講師）
- 2011年度第5回（通算第5回）：2011年12月21日（豊田市、田口厚志講師）
- 2011年度第6回（通算第6回）：2012年2月22日（中部電力㈱、杉本靖夫講師）

6. 防災サロン・ワークショップ

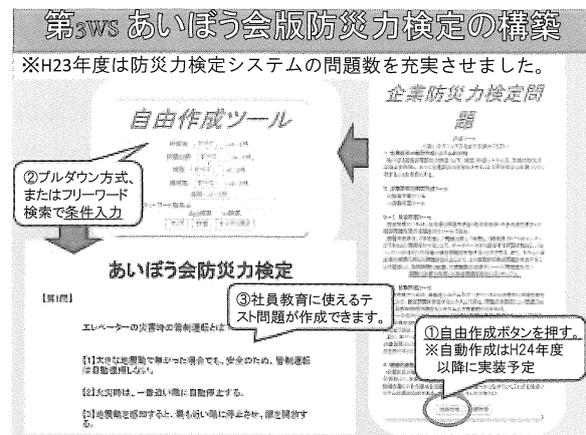
2010年度に、第1WS「企業防災事例集」は終了したので、代わりに2011年度から防災サロンが始まった。防災サロンは第2WS、第3WSに属さない会員が集まって、防災の基本的事項について意見を交換する場として、防災セミナーの講師の方を交えて議論した。第2WS【災害リスト情報】、第3WS「防災力検定」は引き続き活動を継続した。

- 2011年度第1回（通算第18回）：2011年6月22日
- 2011年度第2回（通算第19回）：2011年8月24日
- 2011年度第3回（通算第20回）：2011年9月28日
- 2011年度第4回（通算第21回）：2011年10月26日（中間発表会）
- 2011年度第5回（通算第22回）：2011年11月30日
- 2011年度第6回（通算第23回）：2011年12月21日
- 2011年度第7回（通算第24回）：2012年2月22日
- 2011年度第8回（通算第25回）：2012年3月28日（最終報告会）

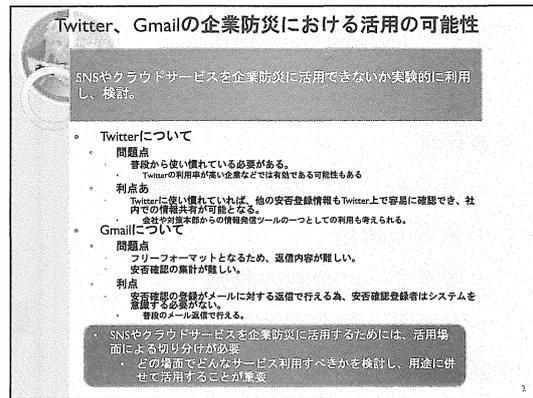
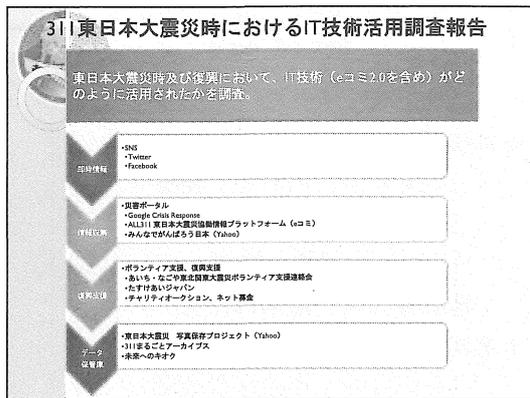
最終報告会の各ワークショップのパワーポイントの一部を下記に記す。



防災サロン



第3ワークショップ



第2ワークショップ

7. 運営委員会

これまで通り、月に1回のペースで運営委員会を開催した。

- 2011年度第1回（通算第47回）：2011年5月25日
- 2011年度第2回（通算第48回）：2011年6月22日
- 2011年度第3回（通算第49回）：2011年8月24日
- 2011年度第4回（通算第50回）：2011年9月28日
- 2011年度第5回（通算第51回）：2011年11月30日
- 2011年度第6回（通算第52回）：2011年12月21日
- 2011年度第7回（通算第53回）：2012年2月22日
- 2011年度第8回（通算第54回）：2012年3月28日

8. 運営協議会

これまで専門委員・アドバイザーの方々に運営委員会にご参加いただいていたが、月1回の会議をお願いするのは負担をかけるため、新たに運営協議会を立ち上げ、外部評価をお願いすることとした。運営協議会は年2回開催とし、中間発表および最終発表を聴講していただき、評価をいただくこととした。以下に専門委員、アドバイザーの所属氏名を示す。

専門委員		
一般社団法人中部経済連合会	社会基盤部	山田 茂
東邦ガス㈱	供給防災部 供給センター 供給防災課	河津 博史
中部電力㈱	発電本部土木建築部 建築グループ 課長	杉本 靖夫
名古屋商工会議所	産業振興部 モノづくり・新産業G	田中 利直
アドバイザー		
愛知県防災局	災害対策課 調整グループ 主査	大井 治
豊田市役所	社会部防災対策担当専門監	田口 厚志

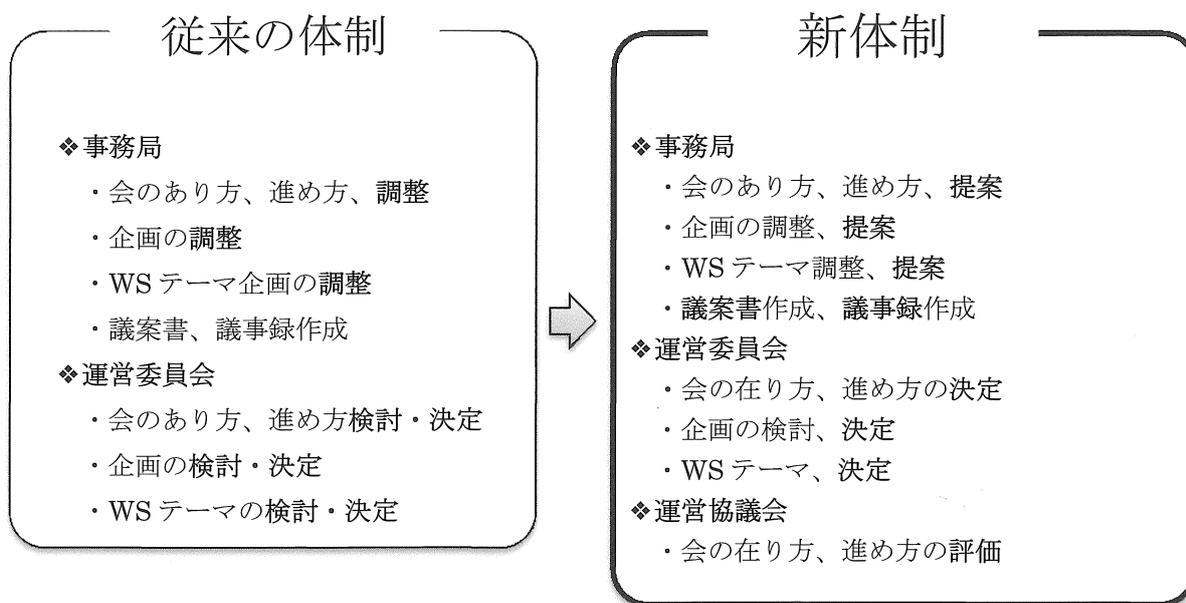
第1回運営協議会：2011年10月26日

第2回運営協議会：2012年3月28日

3月28日の運営協議会において会長より以下の説明が行われた。

(1) 運営体制の見直し

2011年度は運営体制を以下に示すように見直し、事務局の強化を図った。



(2) 平成 23 年度あいぼう会活動自己評価

① 事務局の強化（ほぼ達成）

事務局の構成：会長、副会長、事務局長※、事務局次長※、事務員（※は新設）

事務局会議内容：月 1 回開催、方針・企画の立案、運営会議次第作成

② 活動の強化

会員の拡大（未達成）

活動テーマの発掘：会社に持ち帰って有益な情報の提供（東北地方との連携が達成）

③ 組織の若返り

会員の若返り（不十分）

組織の若返り（役員・事務局のメンバーチェンジ、事務局の強化を図り、達成）

(3) 東北版あいぼう会設立支援への取り組み

① 2012 年 1 月 12 日、正木会長、内藤運営委員長、小池事務局長が東北学院大学、石巻専修大学、東北工業大学を訪問し、被災大学の対応、大学と自治体との連携についてヒアリングを行った。

② 正木会長、鈴木修会員（愛協産業株式会社）が宮城県副知事を訪問し、産業の復興・雇用の確保、産学官連携の重要性について意見を交換した。その後、石巻専修大学の山本教授と共に、石巻市役所を訪問し、市長、産業復興課職員と意見交換を行った。あいぼう会と石巻専修大学との連携、東北版あいぼう会設立と支援、平成 24 年夏あいぼう会が石巻市を訪問したい等の項目が重点的に話し合われた。市長も強い関心を示された。石巻市長は石巻専修大学の出身であることから、石巻専修大学長とは親しく、市と大学の連携は進んでいる。今後、石巻市と石巻専修大学とあいぼう会が連携することが確認された。

③ 以上の経緯を踏まえ、2012 年度から下記を目的とした取り組みを検討することとした。

東日本大震災により被災した東北地方の大学、自治体、企業の連携による東北版あいぼう会の設立を支援すること。

東北版あいぼう会の方々から、今回の震災の教訓、南海トラフ沖地震へのコメント等をいただくこと。24 年夏に石巻市を訪問すること。

2. 社会人防災マイスター養成講座

講座コーディネーター 正木和明

中部圏は日本のものづくりの中核地域であると同時に、東南海地震などの大地震が警戒されている地域でもある。社会人防災マイスター養成講座は、企業の防災担当者を主な対象に、非常時にリーダーとして活躍できる人材を養成して、企業や地域が不幸にして被災した場合でも速やかに活動を再開できるようにすることを目的としている。

愛知工業大学を中心として、連携校である名古屋工業大学、大同大学、豊田工業高等専門学校の教員が参加して平成21年10月に開講した。

本講座は1年間の課程として、半期3科目（年間6科目）を受講することとしている。各科目は90分授業を15回行うため、年間で135時間の授業を開講することになる。学校教育法に基づき120時間以上の授業を受講した履修生に文部科学省より「履修証明書」が交付される。

対象者を社会人としているため、授業はeラーニングを中心として便宜を図るようにしているが、マイスターとして指導力を発揮するための問題解決能力、コミュニケーション能力を育成するため、各履修生は個人・グループの研究を行い、最終授業で発表することとしている。また、授業のレベルは概ね学部上級生から大学院修士課程程度を目安としている。

これまで、秋季（10月）と春季（4月）に募集が行われたが、平成22年度春季募集は中止した。履修期間が1年間であること、このために半期ごとに募集すると講義科目の改定、シラバスの改定ができなくなること、が主たる理由である。募集は、社会人の異動が4月～6月にかけて行われることから、秋季より募集することになった。

平成23年10月5日に入学式を本山キャンパスで開催した。受講生は10名であり、内訳は、消防、電気工事、電話、建設、学生、製造（2人）、サービス、情報（2人）である。平成23年度で半期終了し、平成24年7月に修了予定である。

平成23年度入学者に対する講義科目と担当教員を表1示す。現在までの新入生数を表2に示す。

表1 講義科目と担当教員

開講期	授業科目	担当教員
秋季	防災学概論	正木
	建築防災論	岡田、内藤（㈱総合資格）
	防災リテラシー	倉橋（㈱エーアイシステムサービス）、落合（㈱ファルコン）
春季	企業防災論	建部、渡辺（名工大）
	地域防災論	小池、鷲見（大同大学）、早川（あいち防災リーダー会）
	防災フィールドワーク	今井（(一社)中部電気保安協会）
全期	特別研究	正木他全教員

表2 履修生数

講座年度	履修生
21年度秋季	10人
22年度春季	10人
22年度秋季	9人
23年度春季	募集無
23年度秋季	10人



図1 平成23年度秋季募集用チラシ



写真1 平成22年度秋季履修生特別研究発表会（H22.7.26、本山キャンパス）

3. 緊急地震速報を活用した第6回防災訓練の実施

災害対策室長 正木和明

平成23年10月26日(火)11時30分～12時30分にわたって防災訓練を実施した。今回は第6回となり訓練そのものは定着しているものの、マンネリ化が懸念された。そこで、今回は次の(1)(2)を新たに実施項目として追加した。

(1) 豊田市消防本部との合同訓練

- ・消防本部から消防隊が駆けつけ(という前提)、新1号館前の広場に対策本部を設置する。
- ・はしご車が参加し、新1号館7階建屋上から逃げ遅れた学生を救助する。
- ・避難広場(サッカー場)に起震車を設置、地震体験を行う。
- ・煙体験は風が強く中止とした。
- ・訓練後消防隊への訓告を行う。

(2) 瀬戸市上山田自治会から10名の参加

- ・自治会がある上山田団地から、サニーヒルズ団地内を横切り愛知工業大学まで徒歩による避難を体験する。

(3) 他大学からの見学

表3に示す10大学15名の見学参加があった。

(4) 訓練実施要領と成果

東海・東南海地震が発生(震央は潮岬近傍、Mは8程度)を想定し、「緊急地震速報によると、予想到着時間40秒、予想震度5弱である」と想定して訓練を実施した。サイレンおよびアナウンス「地震が来ます」が全校内に緊急放送され、教室、研究室、実験室、図書館、食堂などの全施設で避難確保行動(机の下にもぐる、危険物から逃げる、火を消すなど)が取られた。40秒後に「揺れが収まった」と放送があり、全員サッカー場に避難し、安否確認(今回は人数確認)が行われた。

今回の訓練で初めての取り組みとして「情報伝達」訓練、情報班から各対策班に情報がうまく伝わるか否かの実験を行った。一方、負傷者救出訓練を豊田市消防本部消防隊と合同で行ったが、トランシーバーによるやり取りが消防隊とうまくいかず課題を残した。大学対策班が独自に訓練してきたが、実際の災害が発生した場合には、消防隊とのやり取りが重要であり、今回の訓練を参考に、対応策(報告内容の検討、数値、性別、負傷程度、対応および結果)について検討することとなった。消防隊長からは、トランシーバーの使用法がうまいとの評価いただいた。

地域住民から「若い人が多く、対応もしっかりしているので、地区の避難所より大学に避難する方が良い。今後受け入れについて協議願いたい」との感想が述べられた。

訓練は学園大学全体で行われ、若水の中学校、名電高校、情報電子専門学校、本山キャンパス、自由ヶ丘キャンパスで訓練が同時に行われた点はこれまでどおりである。

(5) 私学共済機関紙「月報私学」への記事掲載

本学の避難訓練について月刊私学から、東日本大震災の発生があったことから、愛工大の防災への取り組みを、「魅力あふれる学校づくりを目指してシリーズ」で紹介する記事として執筆して欲しいとの要請があった。テーマを「防災の名古屋電気学園・愛知工業大学を目指して」として2ページの紹介記事を掲載してもらった(日本私立学校振興・共催事業団広報、月報私学、VOL.171、2012年3月号、pp.6-7、2012年3月1日発行)

表1 年度ごとの特記すべき訓練内容

平成18年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練)
平成19年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練)
平成20年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練) ・バーコードリーダーでの避難広場人数確認
平成21年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練) ・バーコードリーダーでの避難広場人数確認 ・放水訓練(一部学生) ・消火器訓練(一部学生)
平成22年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練) ・バーコードリーダーでの避難広場人数確認 ・放水訓練(一部学生) ・消火器訓練(一部学生) ・学生への訓練資料事前配布 ・逃げ遅れ者の救助袋訓練(一部学生) ・ヘリコプター離着陸
平成23年度	・豊田消防署との合同訓練 ・地域住民との合同訓練 ・情報伝達訓練

表2 年度ごとの参加者数

防災訓練 実施年月日	避難広場避難者人数(人)	学園全体の避難者数(人)
平成18年12月14日(木)	3179	-
平成19年10月31日(水)	3166	-
平成20年12月11日(木)	3021	5278
平成21年10月29日(木)	3024	5178
平成22年10月26日(火)	3106	4974
平成23年10月26日(水)	3106	5534

表3 見学参加大学 一覧

大学名	部署
豊田工業大学	施設管財グループ
愛知医科大学	施設管財室
名古屋工業大学	財務チーム
愛知大学	総務課
名古屋学院大学	総務部
愛知みずほ大学	事務局
星城大学	
相山大学	財務管財部
愛知学院大学	庶務課



写真1 避難広場に向かう状況



写真2 はしご車による救助活動



写真3 名電高校における訓練

4. 本山キャンパス公開講座「地域防災研究センター講座の開催」

正木和明

平成 23 年度も引き続きオープンカレッジ本山キャンパス公開講座「地域防災研究センター講座」を年 2 回開講した。この講座は他の講座と異なり、地域貢献講座として位置付けられているために、受講料は無料である。

講座は春季と秋季に分かれており、それぞれ 1 時間 30 分の授業が 3 回（3 日）開講されている。対象者は市民であり、チラシによる募集で受講者を募っている。受講申し込み者数は春季 62 人、秋期 60 人であった。

◎春季講座「私の出会った魅力的な地震学」

私が大学院で出会った地震学はとても魅力的な学問でした。特に、プレートテクトニクスは私の地球観をひっくり返してしまいました。私は虜になり、以後地震学にのめりこむ羽目になってしまいました。今回はそんな地震学の魅力について語ります。

講師 正木和明 地域防災研究センター長

期日 5 月 28 日（土）10:30～12:30

「プレートテクトニクスとの出会い、私の地球観がひっくり返った」

6 月 25 日（土）10:30～12:30

「メキシコ地震との出会い、JICA 専門家として 1 年間のメキシコ生活」

7 月 23 日（土）10:30～12:30

「緊急地震速報との出会い、地震防災へのとりくみ」

◎秋季講座「四川大地震と東日本大震災～二つの大震災を比較する」

四川地震を 2 年にわたり現地調査しました。その半年後、東日本大震災が発生しました。続けて起きた世界的大震災。何が同じで何が違うのか？強震動と津波、中国と日本、現地調査、復興施策から比較してみたいと思います。

講師 正木和明 地域防災研究センター長

期日 10 月 1 日（土）10:30～12:30

「四川地震の現地調査、すさまじいまでの家屋倒壊」

10 月 15 日（土）10:30～12:30

「東日本大震災、想像を絶する津波災害」

10 月 29 日（土）10:30～12:30

「東海沖地震では何が起きるのか？我々は想定できるのか？」

地域防災 研究センター講座 受講料 無料

●私の出会った魅力的な地震学

私が大学院で出会った地震学はとても魅力的な学問でした。特にプレートテクトニクスは私の地球観をひっくり返してしまいました。私は盧になり、以後地震学にのめり込む羽目になってしまいました。今回はそんな地震学の魅力について語ります。

【講師】愛知工業大学地域防災研究センター長 正和和明

開講日①5月28日(土)
「プレートテクトニクスとの出会い、私の地球観がひっくり返った」

②6月25日(土)
「メキシコ地震との出会い、JICA専門家として1年間のメキシコ生活」

③7月23日(土)
「緊急地震速報との出会い、地震防災への取り組み」

開講時間/10:30~12:00 開会場/本山キャンパス

地域防災 研究センター講座 受講料 無料

●四川大震災と東日本大震災
～二つの大震災を比較する～

四川地震を2年にわたり現地調査しました。その半年後、東日本大震災が発生しました。続けて起きた世界的大震災。何が同じで何が違うのか?強震動と津波、中国と日本、現地調査、復興施策から比較してみたいと思います。

【講師】愛知工業大学地域防災研究センター長 正和和明

開講日①10月1日(土)
「四川地震の現地調査、すさまじいまでの家屋倒壊」

②10月15日(土)
「東日本大震災、想像を絶する津波災害」

③10月29日(土)
「東海沖地震では何が起きるのか?我々は想定できるのか?」

開講時間/10:30~12:00 開会場/本山キャンパス

写真1 講座案内

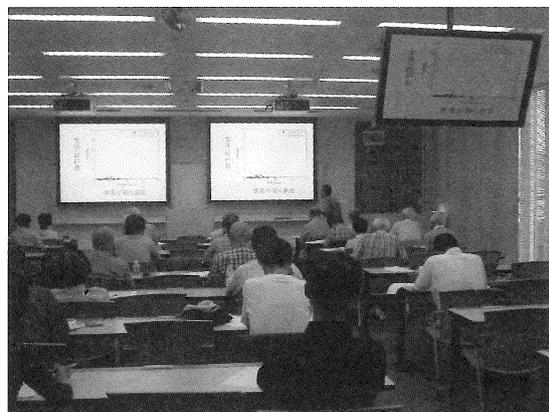
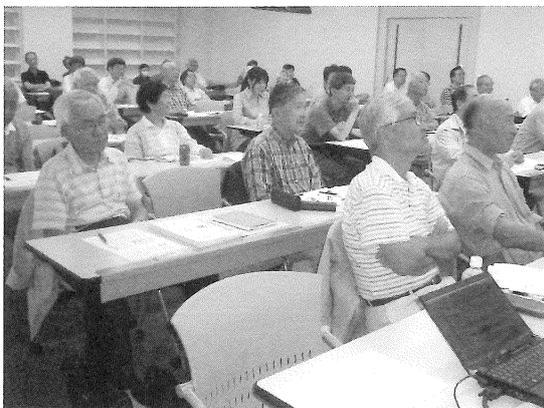


写真2 授業風景 (本山キャンパス)

最近の大災害

スマトラ津波



四川地震



東日本大震災



東海沖大震災



“3.11” 何が起きたのか?

- 地震の規模(マグニチュード=放出エネルギー)は(大和~日本)1500年の歴史的経験上は最大級
※直観地震は(M=0.004, m=4)は200km×100km, MW8.4
※2年(東海沖の地震規模M=8.5)年(ひらがな、非常地震、震度5強)、300年(平開門の島)
- 震度はそれほど強くなかった(震度7は栗原市だけ)
※震度は、マグニチュードと地震からの距離で決まる。
※今回の地震は太平洋沖(遠かった、100km沖、予想震度6弱)
※東海地震は隣に近いので強震動も警戒が必要
- 地震動災害もあった(見過ごされているとしても)が.....津波災害が決定的だった。
※津波常襲地帯。対策は出来ていた。避難できた。しかし、残念。

図1 講座使用のパワポ資料の一部

5. 瀬戸消防出初式

奥川雅之

2012年1月8日(日)に瀬戸市のパルティセとにて、「せと・まるっとミュージアム平成24年瀬戸市消防出初式」における消防フェアが開催され、地域防災研究センターとして出展した。出展内容は、メディア情報研究会(鳥居研究室)が、津波から村人を守った庄屋の話をもとにした紙芝居「いなむらの火」の上演を行い、レスキュープロジェクト(奥川研究室)が、ロボットによる災害救助活動をイメージしたレスキュークローラー操縦体験を行った。多くの市民が来場し、紙芝居鑑賞及び体験を通じて、防災・減災に関する啓発活動を実施することができた。

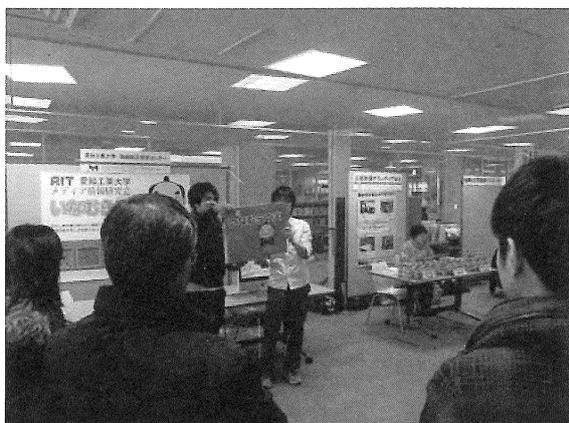


図1 紙芝居実演の様子1



図2 紙芝居実演の様子2

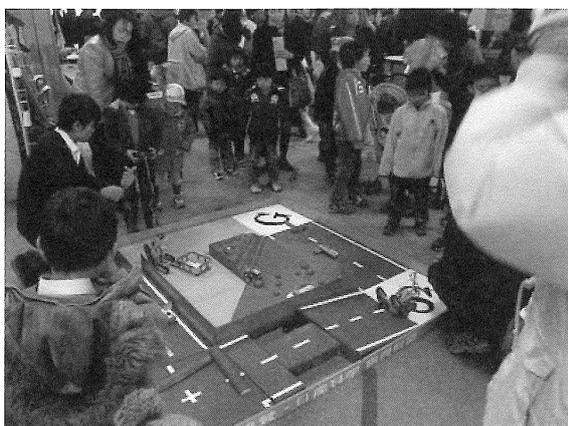


図3 レスキュークローラー操縦体験の様子1

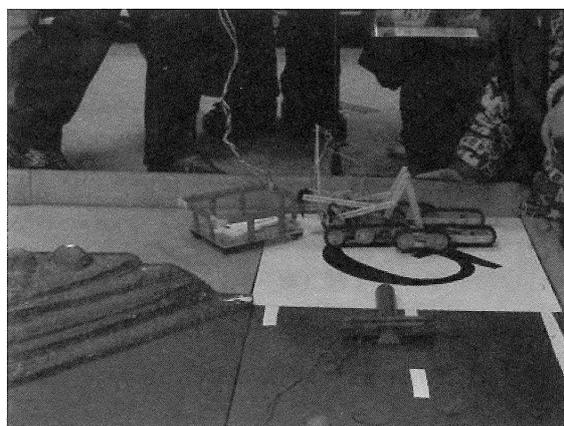


図4 レスキュークローラー操縦体験の様子2

6. 平成 23 年度シンポジウム開催記録

小池則満

2011 年度は、東日本大震災の発生をうけて 4 回のシンポジウムを開催し、被害の速報や巨大災害に対する備えについての議論を行った。今後も、継続的にシンポジウムを開催し、情報の発信および様々な方との意見交換の場を設けていきたいと考える。

「第 1 回 東日本大震災報告会」

東北地方太平洋沖地震の概要および 4 月に行った現地調査の速報を行うことを目的に企画した。

【日時】2011 年 5 月 7 日（日）

【場所】愛知工業大学 本山キャンパス 多目的室

【講演】「東北地方太平洋沖地震の概要」（正木和明 センター長）

【現地調査報告】小池則満（都市環境学科 准教授）、王欣（地域防災研究センター ポスドク研究員）、鳥居雅隆（同ポスドク研究員）

【当日の内容】

地震規模、同地震の予測、津波の高さ、被害の特徴などを解説するとともに、「千葉県、福島県における津波・液状化・強震動による被害状況」（王）「青森県八戸市およびその周辺の津波被害調査」（小池）「被災地の災害廃棄物処理の実態について」（鳥居）といったテーマで現地調査報告を行った。当日は計 67 名の方に参加いただき、会場はほぼ満席であった。報告後、フロアーからは、この地方の震災への影響や今後の対策について質疑があった。

「第 2 回 東日本大震災報告会」

中央防災会議の委員である入倉孝次郎客員教授より最新データから読み取れる今回の地震の特徴について解説していただくとともに、今後、発生が危惧される東海・東南海・南海地震への備えについて、様々な立場の方と考えることを目的とした。

【日時】2011 年 6 月 8 日（水）13:00～15:00

【場所】愛知工業大学 本山キャンパス 多目的室

【講演】「東北地方太平洋沖地震と東海・東南海・南海地震」（入倉孝次郎 地域防災研究センター客員教授）

【当日の内容】

当日は 73 名の方が参加され、予備席を設置するほどの盛況であった。貞観地震などの歴史的な記録、今回の地震の発生メカニズム、地震記録から推定される震源地、被害の特徴、そして東海・東南海・南海地震への備え、緊急地震速報の改良等についてご講演いただいた。質疑では、津波の情報は入手されるデータによって刻一刻、再計算・更新されるので、防災教育の中で伝えていくことが必要等の議論がなされた。

「第3回 東日本大震災報告会」

震災後、4ヶ月が経過したことから、各専門分野の課題について踏み込んだ意見交換をすることを目的に開催した。

【日時】2011年7月16日(土) 13:00～15:30

【場所】愛知工業大学 本山キャンパス 講義室B

【報告】奥川雅之(機械学科 准教授)、山本義幸(都市環境学科 講師)、倉橋奨(地域防災研究センター 客員講師)、落合鋭充(愛知工業大学防災マイスター講座非常勤講師、株式会社ファルコン)

「東日本大震災におけるレスキューロボットの現状調査報告」(奥川)、「衛星データを用いた東日本大震災災害調査」(山本)、「東北地方太平洋沖地震から見えてきた緊急地震速報の現状」(倉橋)、「東日本大震災時に活用された防災情報」(落合)と、各専門分野における現状や課題、今後の災害対策のあり方などが報告された。31名の方にご参加いただき、フロアーからは、今後の災害対策に対する技術開発や設備整備等のあり方について質疑があった。

「巨大水災害シンポジウム in 愛知 想定外を言い訳にしないための備えとは」

東日本大震災をきっかけに想定を超える外力に対する防災対策のあり方が問われていることから、津波や台風などの巨大水災害を、どう考え、どう備えたらよいか、大学、企業、市民、教育支援の立場から考えることを目的とした。運営組織としては、主催を「巨大ハザードを考える研究会」(実行委員会)とし愛知工業大学地域防災研究センター、河川環境管理財団名古屋事務所、地震に強いものづくり地域の会(あいぼう会)が共催する形とした。

【日時】2012年3月16日(金) 13:30～16:00

【場所】名古屋都市センター まちづくり広場 大研修室(ホール)

【基調講演】「水災害と向き合うまちづくり」(大同大学 准教授 鷺見哲也)

【パネルディスカッション】

- ・コーディネーター/愛知工業大学 教授 正木和明
- ・パネラー/愛知工業大学 准教授 小池則満/あいぼう会副会長・あいち防災リーダー会会長 早川澄男/河川環境管理財団 研究第一部 次長 吉野英夫/大同大学 准教授 鷺見哲也

【当日の内容】

参加者数はスタッフを入れて総勢83名となり、写真の通り、ほぼ会場定員となる盛会となった。参加者は、防災ボランティア、民間企業、行政機関の方などであった。会場からは、「避難を促進するための海拔表示について」、「職場が帰れと言わないと帰りづらく、避難しやすい社会環境が必要」、「学校には[安全教育]はあるが[防災教育]はなく、これをカリキュラムにどう取り込んでいくか?課題である」といった意見があった。



写真 巨大水災害シンポジウム 会場の様子

7. 地域防災研究センター見学会

平成23年度は567名の方に地域防災研究センターを見学いただいた（これまでの累計7,410人）。

主に高校生や保護者、防災ボランティア等の市民の方が見学や講義・防災体験を通して防災について学びました。



写真1. センターの概要について説明を受ける学生たち（東南大学の視察団）



写真2. 免震装置を見学する高校生

●講演会等リスト

【正木和明】

- ・ 東日本大震災緊急報告会「東北地方太平洋沖地震の概要」, 愛知工業大学本山キャンパス, 2011年5月7日
- ・ セキスイハイム防災セミナー「来たるべき東海大地震に備える～命を守る住宅とは～」, セキスイハイム豊橋工場展示会場, 2011年5月15日
- ・ 名古屋商工会議所情報通信部会講演「東日本大震災に学ぶ防災対策～東海沖地震が起きたらどうなるか? 情報通信に求められること～」, 名古屋商工会議所, 2011年5月26日
- ・ 愛知工業大学名電高校PTA総会講演「東海地震、東南海地震、南海地震と備えについて」, 名電高校来た校舎体育館, 2011年6月4日
- ・ 矢作川環境技術研究会公開発表会特別講演「地震に強い地域社会を築く防災への取り組み」, ホテルナゴヤキャッスル, 2011年6月14日
- ・ (社)名古屋電気工事経営協会技術講習会講演会「東日本大震災から何を学ぶか～東海沖連動地震に向けて～」, メルパルクNAGOYA, 2011年6月16日
- ・ 初夏の集い in 瀬戸「東日本大震災から学ぶ事」, パルティせと, 2011年6月19日
- ・ 加藤建設グループ安全推進大会「東海・東南海・南海巨大地震に保云等に対応できるのか～東日本大震災の教訓から」, 2011年6月29日
- ・ 北大学電気系同窓会東海支部第35回総会講演会「東日本大震災の教訓と緊急地震速報の活用～西日本東海沖地震に向けて～電気関係者に求められる事」, ホテルサンルートプラザ名古屋, 2011年7月2日
- ・ 学コンソーシアムせと大学別講演会「東北地方太平洋沖地震と東海・東南海・南海連動 地震日本大震災が東海地方で起きたら～」, パr y ティせと, 2011年7月9日
- ・ 知県立豊橋養護学校PTA防災講習会「東日本大震災に学ぶ地域・我が家の地震対策～ 東海・東南海地震に備えて～」, 愛知県立豊橋養護学校会議室, 2011年7月13日
- ・ 高大連携プログラム「東北地方太平洋沖地震のメカニズム～東日本大震災が東海地方で起きたら～」, 愛知工業大学, 2011年8月7日
- ・ 東海市コミュニティ連絡協議会研修会「東日本大震災に学ぶコミュニティのあり方～コミュニティは何をきたされているのか、何ができるか～」, 東海市商工センター, 2011年8月8日
- ・ 尾張旭市教職員夏季研修講演「児童・生徒と教師のための防災教育～災害をどう教えるか～」, スカイワードあさひ, 2011年8月19日
- ・ 教員免許更新講習会「先生と子ども達のための防災教育」, 愛知工業大学, 2011年8月24日
- ・ 新川寿会連合会シルバー学級研修会「清須市地震被害想定と避難のあり方」, 清須市新川ふれあいセンター, 2011年9月13日
- ・ 大野工務店安全推進大会「東日本大震災と東海・東南海・南海連動地震」, 鈴鹿市, 2011年10月3日
- ・ 被災建築物応急危険度判定士講習会「東日本大震災と東海・東南海・南海連動地震」, ライフポートとよはし, 2011年10月7日
- ・ 愛知工業大学オープンフォーラム「本学は全国の大学で最初に緊急地震速報を導入しました」, ホテルクラウンパレス浜松, 2011年10月22日
- ・ 名古屋市千種生涯学習センターシリーズ講演会安心・安全を考える「東日本大震災の教訓を東海地方巨大地震にどう生かすか」, 千種生涯学習センター, 2011年10月28日

- ・ 名古屋市中村生涯学習センター後期主催講座「東日本大震災に学ぶ～もし東海沖で巨大地震が発生したら千成学区は・・・～」, 千成小学校, 2011年11月5日
- ・ 大府市職員政策課題研修「東日本大震災が東海地方で起きたら・・・その時大府市はどうなる?」, 2011年11月17日
- ・ せと市民塾「東日本大震災に学ぶ地震対策～東海・東南海・南海連動地震に向けて～」, パルティせと, 2011年12月8日
- ・ 半田市教育委員会生涯学習講座「巨大地震と半田講座(1) 東日本大震災に学ぶ～東海・東南海・南海連動地震への教訓～」, 雁宿ホール, 2011年12月6日
- ・ 半田市教育委員会生涯学習講座「巨大地震と半田講座(3) 東日本大震災に学ぶ～その時半田市はどうなるのか～我が家の地震対策～」, 雁宿ホール, 2011年12月10日
- ・ 半田市教育委員会生涯学習講座「巨大地震と半田講座(3) 災害対策の歴史～昔の人の知恵から最新技術まで～」, 雁宿ホール, 2011年12月13日
- ・ 中部経済連合会幹事会講演会「地域防災研究センター紹介」, 中部経済連合会, 2011年12月22日
- ・ 豊明市防災講演会「東海沖連動地震で豊明市はどうなるか～東日本大震災に学ぶ～」, 豊明市文化会館, 2012年1月14日
- ・ 土木学会出前講座関商工建設工学科活性化事業「東日本大震災の教訓と緊急地震速報」, 関商工高校, 2012年1月26日
- ・ 中部経済連合会企業防災連絡会講演会「緊急地震速報の活用」, 中部経済連合会, 2012年3月9日
- ・ 日本発育発達学会第10回大会シンポジウムパネラー講演「地震から逃れた子供たち～今を生きる子供の身体・震災が及ぼす心身への影響と課題～」, 名古屋学院大学白鳥キャンパス, 2012年3月18日

【入倉孝次郎】

- ・ Kojiro Irikura, Susumu Kurahashi and Anatoly Petukhin : 「Improvement of the Recipe for Prediction of Strong Ground Motions for Inland Mega-fault Earthquakes」, Seismological Society of America(SSA) 2011 Annual Meeting, Memphis, Tennessee, USA, 13-15 April 2011,
- ・ Kojiro Irikura : 「Ground-motion simulation for nuclear power plant in Japan」, Workshop on ground-motion simulation for Nuclear Power Plant and metropolis, Taipei, Taiwan , 25 Apr. 2011
- ・ K. Irikura : 「Accidents at Fukushima No1 Nuclear Power Plant caused by the 2011 Tohoku earthquake」, IUGG 2011, Melbourne Australia, 28 June - 7 July 2011
- ・ Strong Motion Prediction for Inland Crustal Earthquakes Based on Active Fault Survey, K. Irikura, XVIII INQUA-Congress, 21-17 July 2011, Bern Switzerland
- ・ 東日本大震災シンポジウムー地球人間圏学の視点ー, 「東北地方太平洋沖地震に学ぶ超巨大海溝型地震の特徴と今後の地震対策」, 関西大学, 2011年10月9日
- ・ リアルタイム地震情報利用協議会 地震防災シンポジウム 東日本大震災ー私たちの失敗「なぜ巨大地震は予知できなかったか」, 日本財団ビル, 2011年10月18日,
- ・ 原子力総合シンポジウム 2011 「東北地方太平洋沖地震を踏まえた原子力発電所の耐震指針」, 日本学術会議講堂, 2011年10月19日
- ・ Keynote Lecture; 「 Sismologia, prediccion de temblores incluyendo instrumentacion, fallas activas, simulacion de movimientos fuertes, codigos y regulacion de edificios y estructuras importantes como plantas de generacion de energia nuclear.」, XVIII National Conference on Earthquake Engineering,

Aguascalientes, Mexico, (2011.10)

- ・ 日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災を教訓とした巨大災害軽減と持続的社会的実現への道」「巨大災害の軽減と持続的社会的調和に我々はどう取り組むべきか?」, 日本学術会議講堂, 2012年2月11日
- ・ 大阪ビルディング協会セミナー講演「東日本大震災に学ぶこれからの日本の地震防災対策のあり方」, 大阪北浜フォーラム, 2012年2月28日

【建部謙治】

- ・ 平針住宅講演会, 「平針住宅の未来と課題」, 平針南コミュニティセンター, 2011年11月25日

【岡田久志】

- ・ 鉄鋼連盟講習会「建築構造用鋼材とその利用技術」, 基調講演「構造設計の信頼性」, 2011.12.16
- ・ 先端科学技術入門: 建物はどこまで高くできるか—高層化の技術—, 名電高等学校, 2011.6.8

【奥川雅之】

- ・ 愛知工業大学地域防災研究センター第3回東日本大震災報告会「東日本大震災におけるレスキューロボットの現状調査報告」, 愛知工業大学本山キャンパス, 2011年7月16日
- ・ 半田市教育委員会主催 生涯学習講座「東日本大震災におけるレスキューロボットの現状調査報告」, 半田市雁宿ホール, 2011年12月6日

【小池則満】

- ・ 東日本大震災緊急報告会「青森県八戸市およびその周辺地域の津波被害調査」, 愛知工業大学本山キャンパス, 2011年5月7日
- ・ 長野県立白馬高校講義「東日本大震災から何を学ぶか」長野県立白馬高校, 2011年9月13日
- ・ 第25回杜和会技術検討会「建設業と事業継続計画(BCP)」, サンプラザシーズズ, 2011年12月10日
- ・ 愛協産業株式会社安全大会: 「建設業とBCP(事業継続計画)」大府市勤労文化会館, 2011年12月22日
- ・ 名古屋工業大学高度防災工学センター発足記念シンポジウム: 「緊急地震速報と大学防災」, 2012年1月18日
- ・ 巨大水災害シンポジウム in 愛知「今までと違う“避難”の仕方は可能か?」, 名古屋都市センターまちづくりホール, 2012年3月16日

【廣内大助】

- ・ 活断層大地震に備える(信州大学出前講座), 上田文化会館, 2011年6月3日
- ・ 水害DIGの実践, NPO法人ウェザーフロンティア東海講習会講師, 西あじま小学校, 2011年6月19日
- ・ 活断層地震防災を考える—長野県の活断層—(信州大学連続防災講演会), ノルテながの, 2011年7月30日
- ・ 活断層大地震に備える(信州大学出前講座), 松本中央地区防災部, 大手公民館, 2011年8月20日
- ・ 活断層大地震に備える(信州大学出前講座), JA松本ハイランド(若妻大学), 2011年8月30日
- ・ 活断層大地震に備える(信州大学出前講座), 富士見高原夏期大学, 富士見町コミュニティプラザ, 2011年8月31日

- ・ 活断層大地震に備える（信州大学出前講座），JA 松本ハイランド（はつらつ大学），2011年9月6日
- ・ 活断層大地震に備える（信州大学出前講座），松本市波田公民館，2011年9月6日
- ・ 森林教室「阿寺断層を見にゆこう！」（恵那こぶしの会），中津川市坂下地区，2011年10月29日
- ・ 地域防災マップの作成，NPO 法人ウェザーフロンティア東海講習会講師，西あじま小学校，2011年11月3日
- ・ 歴史に見える地震災害と名古屋の被害予測，新修名古屋市史特別講演会，名古屋市中区役所ホール，2011年11月4日
- ・ 活断層大地震に備える（信州大学出前講座），上田市丸子文化会館，2011年11月30日
- ・ 活断層大地震に備える，松本梓川地区講演会，梓川公民館，2011年12月3日
- ・ 長野県の地形と活断層の現状（大震災に学ぶ防災知識），長野県カルチャーセンター，2012年1月28日
- ・ 活断層大地震に備える（信州大学出前講座），松本神林公民館，2012年2月26日
- ・ 活断層大地震に備える（信州大学出前講座），松本防火管理協会，松本 M ウィング，2012年3月16日

【阿部亮吾】

- ・ 「防災」，「地域の国際化セミナー 2012」（名古屋国際センター主催）名古屋国際センター，2011年2月5日
- ・ 「多文化共助のススメー外国人住民を災害弱者にしないためにー」，「多文化共生関係連携会議」（愛知県多文化共生推進室主催），豊橋市民センター，2011年2月7日

●各種委員

【入倉孝次郎】

- ・ 日本学術会議連携会員
- ・ 独立行政法人防災科学技術研究所客員研究員
- ・ 内閣府原子力安全委員会専門委員
- ・ 文部科学省地震調査推進本部地震調査委員会委員，強震動評価部会長
- ・ 文部科学省地震調査推進本部地震調査委員会委員会総合部会委員
- ・ 文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査員
- ・ 文部科学省公募選定技術審査専門員
- ・ 独立行政法人海洋研究開発機構南海トラフ巨大地震連動性評価研究運営委員・研究推進委員
- ・ 独立行政法人防災科学技術研究所「地震瞬時速報利用検討会」委員長
- ・ 独立行政法人防災科学技術研究所強震観測事業推進連絡会議委員
- ・ 独立行政法人原子力安全基盤機構試験研究等外部評価委員
- ・ 独立行政法人原子力安全基盤機構安全研究評価委員会委員
- ・ 独立行政法人防災科学技術研究所ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究に関する運営委員会委員
- ・ リアルタイム地震情報利用協議会強震動のデータのリアルタイム利活用及び超深層観測データの利活用ニーズに関する調査・研究推進委員会議長
- ・ 社団法人日本地震学会 IASPEI 委員会委員
- ・ 社団法人日本地震学会災害調査委員会委員
- ・ 社団法人日本地震学会倫理委員会委員
- ・ 社団法人日本地震学会代議員

- ・ 財団法人地震予知総合研究振興会地震防災評価機構運営会議委員
- ・ 財団法人地震予知総合研究振興会サイスマテクトニクス研究会委員
- ・ 日本活断層学会理事
- ・ 財団法人地域地盤環境研究所評議員

【建部謙治】

- ・ 豊田市都市景観審議会委員・会長
- ・ 豊田市中心市街地景観まちづくり方針検討会委員
- ・ 日本インテリア学会東海支部長
- ・ 愛知県防犯住宅コンテスト審査委員会委員

【曾我部博之】

- ・ 日本建築センター 電算プログラム審査委員会委員
- ・ 愛知県建築住宅センター 耐震診断判定部会及び耐震改修評定部会委員
- ・ 建築学会 情報システム技術本委員会
- ・ 建築学会 ソフトコンピューティング研究小委員会
- ・ 建築学会 構造設計における冗長性と性能最適化小委員会

【岡田久志】

- ・ 日本建築学会・鉄骨工事運営委員会委員
- ・ 愛知県建築構造技術連絡協議会・建築構造専門識者会委員
- ・ 日本建築センター・鉄鋼系住宅構造審査委員会委員
- ・ 鉄鋼系住宅構造評定委員会委員
- ・ 日本建築センター・電算プログラム審査委員会委員
- ・ 鉄骨製作管理技術者管理機構・鉄骨製作管理技術者審査委員会委員
- ・ 全国鉄骨評価機構・中部地区評価委員
- ・ 溶融アルミめっきボルト高力ボルト技術協会・技術委員会委員
- ・ 鉄鋼連盟・教育研究ネットワーク委員会・中部地区幹事

【小池則満】

- ・ 東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会 作業部会ファシリテーター
- ・ 土木学会 中部支部 幹事
- ・ 名古屋市防災会議 地震対策専門委員会 災害に強いまちづくり分科会 委員
- ・ (社)中部航空宇宙技術センター ヘリコプター活用研究会 委員

【廣内大助】

- ・ 独)産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター客員研究員
- ・ 愛知工業大学地域防災研究センター客員研究員
- ・ 東北大学大学院理学研究科研究協力員
- ・ 日本地理学会災害対応委員会委員 (地域拠点委員兼任)

- ・ 日本活断層学会行事委員会委員
- ・ 日本活断層学会特集号編集委員会委員
- ・ 日本第四紀学会古地震ネオテクトニクス研究委員会委員
- ・ 地球惑星科学連合教育問題検討委員会委員
- ・ 国土交通省国土地理院活断層情報整備検討委員会委員
- ・ 国土交通省治水地形判定委員会委員
- ・ 須坂市誌編纂委員会執筆委員
- ・ 新修豊田市史編さん執筆協力員(自然部会)
- ・ 特定非営利活動法人レスキューストックヤード有識者パートナー

【阿部亮吾】

- ・ 公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金(あいちモリコロ基金)(予備審査員)
- ・ 地震に強いものづくり地域の会(運営委員)
- ・ 名古屋市港区多文化共生推進協議会(オブザーバー)

●外部資金 獲得状況

【正木和明】

- ・ 正木和明, 入倉孝次郎, 「地域防災のための高精度強震動予測手法の開発」, 135万円, 科学研究費補助金基盤研究C, 2011年4月～2013年3月

【建部謙治】

- ・ 建部謙治, 「大地震時における企業防災診断システムの開発と展開」, 130万円, 科学研究費補助金, 研究期間2009年4月～2012年3月

【奥村哲夫】

- ・ 奥村哲夫, 成田国朝, 木村勝行, 「豪雨・洪水時の河川堤防の安全性確保に関する研究」, 169万円, 科学研究費, 2011年4月～2013年3月

【奥川雅之】

- ・ 土井智晴, 奥川雅之, 山内仁, 高森年, 大坪義一, 衣笠哲也, 「ICT技術を用いた消防隊員遠隔支援用レスキューベストの開発」, 156万円(直接120万円, 間接36万円), 文科省科学技術研究費補助金「基盤研究(B)」, 2011年4月～2014年3月.
- ・ 奥川雅之, 「レスキューロボットを活用した被災地情報収集作業の効率化」, 100万円, 内藤科学技術振興財団, 2011年6月～2012年3月.
- ・ 奥川雅之, 佐野泰之, 「機械設備の異常検知を目指した無線センサネットワークによる維持管理システム」, 50万円, 中日本建設コンサルティング, 2011年6月～2012年3月.
- ・ 奥川雅之, 「倒立振子型ツアーガイドロボットの開発」, 22万円, 竹田設計工業, 2012年1月～2012年9月.

【小池則満】

- ・ 小池則満, 西村雄一郎 「巨大災害に備える広域避難計画策定のための空間的分析」, 998000円, (財)河

川環境管理財団名古屋事務所調査研究事業，2011年7月～2013年3月

【小橋勉】

- ・ 小橋勉「合併における組織間学習の長期的ダイナミクスの分析」，23年度：780,000円，科学研究費若手研究(B)，2011年4月～2013年3月

【廣内大助】

- ・ 今泉俊文（連携研究者：廣内大助），「変動地形マッピングに基づく伏在活断層・活褶曲と地震発生様式の解明」，文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(A) 課題番号(21240074)，平成21～25年度
- ・ 廣内大助，「長野県米村地震災害調査」サブテーマ：「2011年長野県北部地震震源域周辺における活断層調査」，平成23年度 信州大学学長裁量経費
- ・ 澁澤文隆（共同研究者：廣内大助），「学校教育における防災教育カリキュラムと教材開発整備研究プロジェクト」，平成23年度 信州大学学長裁量経費

【阿部亮吾】

- ・ 阿部亮吾「日本型多文化共生社会の構築と展望に関する実証的・理論的研究」，44万円(H23年度)，文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))，2010年4月～2014年3月

●業績リスト

著書

【岡田久志】

- ・ 岡田久志：「ボルト接合の長期許容指圧許容応力度が基準強度の1.25倍なのはなぜか」，建築技術，No.735，pp145(2011.4)
- ・ 建築用薄板溶接接合部設計・施工マニュアル編集委員会：「建築用薄板溶接接合部設計・施工マニュアル」，日本建築センター(2011.12)

【小橋勉】

- ・ Kobashi, T: 「Sensemaking in inter-organizational Relationships,」 in T.K.Das (ed.) , Behavioral Perspectives on Strategic Alliances, pp. 27-51 (2011)

【廣内大助】

- ・ 廣内大助：「須坂市誌 第一巻自然編」，須坂市 629,p78-88(2011.12.28)

【阿部亮吾】

- ・ 阿部亮吾：「エスニシティの地理学—移民エスニック空間を問う—」，古今書院(2011.12)

論文(審査付)

【入倉孝次郎】

- ・ 池田隆明，釜江克宏，入倉孝次郎：「経験的グリーン関数法を用いた震源のモデル化と地盤の非線形性を考慮した地震動評価 2005年福岡県西方沖の地震と2007年能登半島地震への適用」，日本建築学会構造系

論文集, 第 76 卷, 第 665 号, 1253-1261 (2011.7)

【小池則満】

- ・ Norimitsu Koike, Isam Harik, : 「Post earthquake rapid inspection planning for bridges in Western Kentucky」, Int. J. of GEOMATE, Vol. 2, No. 1, pp.179-184 (2012.3)

【山本義幸】

- ・ Tomohito Asaka, Keishi Iwashita, Katsuteru Kudou, Hisao Fujii and Yoshiyuki Yamamoto : 「Experimental Evaluation of Digital Surface Model Generated from ALOS/PRISM: the Usage of VRS RTK-GPS Survey Tools」, Report of the Research Institute of Industrial Technology Nihon University, Number 96, pp 1-15 (2011.4)

【王 欣】

- ・ Xin Wang, Kazuaki Masaki, Kojiro Irikura : 「Building Damage Criteria from Strong Ground Motion Characteristics during the 2008 Wenchuan Earthquake」, Journal of Earthquake Engineering, Volume 15, No. 7, pp. 1117-1137 (2011)

【廣内大助】

- ・ 堀和明, 廣内大助 : 「福井豪雨で生じた足羽川谷底低地の破堤堆積物」, 地理学評論 84-4, p358-368(2011.7)
- ・ 廣内大助, 安江健一 : 「1586 年天正地震と阿寺断層の最新活動」, 活断層研究 35, p51-56(2011)

【倉橋奨】

- ・ Susumu Kurahashi and Kojiro Irikura : 「 Source model for generating strong ground motions during the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake」, Earth Planets Space, Vol.63, pp.571-576 (2011)

【阿部亮吾】

- ・ 阿部亮吾 : 「日本の地理学におけるエスニシティ論の展開と課題」, 多文化共生研究年報, 第 8 号, pp37 - 62 (2011.5)

論文 (研究報告集・紀要等)

【建部謙治】

- ・ 建部謙治, 青木徹彦 : 「地震動による人の心理学的・生理学的影響に関わる実験」, 愛知工業大学耐震実験センター, 平成 22 年度年次報告書 . vol.3, pp.107-112 (2011.9)
- ・ 建部謙治, 青木徹彦 : 「地震動による人の心理学的・生理学的影響に関する実験」, 「私立大学学術研究高度化推進事業」, 産学連携研究推進事業, 地震情報活用と防災拠点形成による地域防災力向上技術開発, 愛知工業大学地域防災研究センター, vol.7, pp.34-39 (2011.7)
- ・ 建部謙治, 田村和夫, 高橋郁夫, 木田健一, 内藤克己, 小橋勉 : 「企業防災診断システムの高度化に関する研究」, 「私立大学学術研究高度化推進事業」, 産学連携研究推進事業, 地震情報活用と防災拠点形成による地域防災力向上技術開発, 愛知工業大学地域防災研究センター, vol.7, pp.40-41 (2011.7)

- ・ 建部謙治：「大地震時における企業防災診断システムの開発と展開」，平成 21 ～ 23 年度科学研究費補助金研究成果報告書，(2012.3)

【岡田久志】

- ・ 西澤穂浪，小野徹郎，岡田 久志，唐津敏一，藤内繁明，佐藤篤司：「軽量形構造建築物の耐力壁への転倒モーメントの影響 その 1 実験計画と荷重変位関係」，日本建築学会大会学術講演梗概集 (北陸) 構造Ⅲ，2011.8，pp929 - 930
- ・ 岡田 久志，佐藤篤司，唐津敏一，藤内繁明，浅田 希美，小野徹郎：「軽量形構造建築物の耐力壁への転倒モーメントの影響 その 2 転倒モーメントと水平力の相関関係」，日本建築学会大会学術講演梗概集 (北陸) 構造Ⅲ，2011.8，pp931 - 932
- ・ 鳥居拓哉，小野徹郎，岡田久志，佐藤篤司，猪飼祐梨：「薄板軽量形鋼ホールダウン金物の接合部耐力」，日本建築学会東海支部研究報告集，Vol.50，pp117，2012.2
- ・ 三井和也，小野徹郎，岡田久志，佐藤篤司，中谷純子：「薄板軽量形鋼組立圧縮材の曲げ座屈実験」，日本建築学会東海支部研究報告集，Vol.50，pp145，2012.2

【山本義幸】

- ・ Yoshiyuki Yamamoto, Tomohito Asaka : 「Patterns of spectral variation in the urban environment of dense low and high-rise buildings area based on ALOS/AVNIR-2 satellite data」, Final Reports of the ALOS Research Announcement Programs 1&2, 2011, pp PI425-1 ~ PI425-6 (2011.11)
- ・ Tomohito Asaka, Yoshiyuki Yamamoto : 「Evaluation Analysis for Digital Terrain Models Generated from ALOS/PRISM -OB2 Data」, Final Reports of the ALOS Research Announcement Programs 1&2, 2011, pp PI400-1 ~ PI400-6 (2011.11)
- ・ 山本義幸：「マルチ GNSS による測位特性評価」，愛知工業大学研究報告，第 47 号，pp (2012. 3)
- ・ 山本義幸：「QZSS による測位特性評価 -GPS 補完衛星としての効果検証 -」，愛知工業大学研究報告，第 47 号，pp (2012. 3)

【廣内大助】

- ・ 鈴木康弘，石黒聡士，碓井照子，海津正倫，後藤秀昭，杉戸信彦，中田 高，廣内大助，堀 和明，松多信尚，渡辺満久，宇根 寛：「2 万 5 千分の 1 津波被災マップ」，月刊地理，56-6，49-57(2011)

【阿部亮吾】

- ・ ABE, Ryogo : 「(Un)constructing the local multicultural society: A case study of Filipino migrants in Nagoya, Japan」, Colloquium: The New Horizon of Contemporary Sociological Theory, 6, pp48 - 59 (2011.6)

その他 (報告書など)

【入倉孝次郎】

- ・ 入倉孝次郎：「耐震設計審査指針とバックチェック」，日本原子力学会誌 アトモス，Vol.53, No.3, 179-184 (2011)
- ・ 入倉孝次郎：「地震防災のための強震動予測 - 阪神・淡路大震災そして新潟県中越沖地震に学ぶ -」，Geo consultant Annual Report, No.6, 9-11 (2011)

- ・ 入倉孝次郎：「これからの耐震設計には何が必要か」, 化学, Vol.66, No.6, 26-27, 2011
- ・ 入倉孝次郎：「大地震にも負けない国造り - 免震・制震への期待 -」, MENSIN, No.74, 1-2, (2011)

【奥川雅之】

- ・ 奥川雅之：「レスキューロボットコンテストの紹介と将来展望」, 日本機械学会東海支部第 117 回講習会「防災技術の現状と将来展望」資料集, pp. 7-14, (2012.1)

【廣内大助】

- ・ 鈴木康弘, 杉戸信彦, 堤 浩之, 後藤秀昭, 廣内大助, 熊原康博, 松多信尚, 澤 祥, 渡辺満久, 中田 高：「活断層の地表形状・ずれ量データにもとづく地震発生予測」, 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画平成 22 年度年次報告, 課題番号：1704(2011)
- ・ 廣内大助, 松多信尚, 杉戸信彦, 竹下欣宏：「3 月 12 日長野県北部の地震に伴う地変と栄村周辺地域の活断層」, 長野県北部地震災害調査研究報告書（信州大学山岳科学総合研究所）(2012.1.27)

【阿部亮吾】

- ・ 阿部亮吾, 早川澄男：「地外国籍住民のための防災マップ作りに向けてー名古屋市港区九番団地の外国籍団地住民の生活行動圏調査からー」, 愛知工業大学地域防災研究センター編『地域防災研究センター年次報告書 Vol.7』愛知工業大学地域防災研究センター, pp28 - 33 (2011.7)

学会発表・プロシーディングス

【入倉孝次郎】

- ・ Kojiro Irikura and Susumu Kurahashi：「Source Model for Generating Strong Ground Motions during the 11 March 2011 off Tohoku, Japan Earthquake」, Seismological Society of America(SSA) 2011 Annual Meeting, Memphis, Tennessee, USA(2011.4)
- ・ 入倉孝次郎, 宮腰研, Petukhin Anatoly, 香川敬生：「疑似動力学的なマルチサイクル・シュミレーションに基づいた巨大内陸地震 (Mw > 7) の震源特性に関する考察」, 日本地球惑星科学連合大会 (2011.5)
- ・ 入倉孝次郎, 倉橋奨「東北地方太平洋沖地震における大加速度記録の検証」, 日本地震学会 2011 年秋季大会 (2011.10)
- ・ Kojiro Irikura and Susumu Kurahashi：「Source Model for Generating Strong ground Motions during the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake」, AGU Fall Meeting 2011 (2011.12)

【建部謙治】

- ・ 建部謙治, 宮下邦義：「地震動による人の心理学的・生理学的影響に関する研究, その 1 実験概要と生理学的変化」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1, pp. 745-746 (2011.8)
- ・ 宮下邦義, 建部謙治：「地震動による人の心理学的・生理学的影響に関する研究, その 2 年齢別, 性別比較」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1, pp. 747-748 (2011.8)
- ・ 荒井大輔, 建部謙治, 「公共空間における落書きの特徴と犯罪との関係, 落書き場所の空間特性」, MERA, No.27, p p .32, (2011.8)

【奥村哲夫】

- ・ 奥村哲夫, 成田国朝, 木村勝行:「河川堤防の揚圧力に関する遠心模型実験」, 土木学会中部支部平成 23 年度研究発表会講演概要集, pp.185-186 (2012.3)
- ・ 日高和彦, 木村勝行, 奥村哲夫:「堤体内浸透流に関する Casagrande,A. の方法の適用性」, 土木学会中部支部平成 23 年度研究発表会講演概要集, pp.187-188 (2012.3)
- ・ 則竹一輝・鈴木森晶, 奥野祐朗, 奥村哲夫:「矩形貯槽のスロッシング現象抑制方法に関する実験的研究」, 土木学会中部支部平成 23 年度研究発表会講演概要集, pp.11-12 (2012.3)

【曾我部博之】

- ・ 曾我部博之:「シックスシグマ設計に基づく骨組構造物のロバスト設計—遺伝的アルゴリズムを用いた崩壊荷重の応答曲面—」, 計算工学講演会論文集, Vol.16, CD-ROM (2011.5)
- ・ 曾我部博之:「弾塑性骨組構造物のロバスト最適化—全塑性モーメントを因子とする崩壊荷重の応答曲面—」, 構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム論文集, Vol.7, CD-ROM (2011.10)

【奥川雅之】

- ・ 坂本典之, 奥川雅之:「ポーターロボットにおける速度ベクトルを利用した人追従制御」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2011 講演論文集 (DVD-ROM), 1P1-005, (2011.5)
- ・ 加藤悠記, 奥川雅之:「ツアーガイドロボットにおけるマーカを利用した展示物の画像識別と行動決定」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2011 講演論文集 (DVD-ROM), 1P1-L16, (2011.5)
- ・ 大道拓磨, 奥川雅之:「ユニバーサルな伝達手段を考慮した災害時避難行動支援ロボットの検討」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2011 講演論文集 (DVD-ROM), 2A1-D02, (2011.5)
- ・ 吉村卓真, 奥川雅之:「車輪倒立振子型パーソナルモビリティの搭乗姿勢および操作方法の検討」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2011 講演論文集 (DVD-ROM), 1P1-I03, (2011.5)
- ・ 高田祐治, 奥川雅之, 渥美辰哉:「オブザーバを利用したスーパーバイザーによるボルト緩み評価に対する精度向上」, 日本機械学会第 12 回「運動と振動の制御」シンポジウム講演論文集, pp. 333-338, (2011.7)
- ・ 加藤雅大, 奥川雅之, 小林義光, 椋木新:「自己復元機構を有する倒立振子型移動ロボットにおける傾斜路走行」, 日本機械学会第 12 回「運動と振動の制御」シンポジウム講演論文集, pp. 185-190, (2011.7)
- ・ 高田祐治, 奥川雅之, 渥美辰哉:「スマートワッシャによるボルト緩み評価を目的とした適応オブザーバを用いたスーパーバイザ」, 第 54 回自動制御連合講演会講演論文集 CD-ROM, pp. 549-554, (2011.11)
- ・ 加藤雅大, 奥川雅之, 小林義光, 小島昇:「自己復元機構を有する倒立振子型移動ロボットにおける重心移動機構による姿勢角制御」, 第 54 回自動制御連合講演会講演論文集 CD-ROM, pp. 63-68, (2011.11).
- ・ 吉村卓真, 奥川雅之:「着座式車輪倒立振子型パーソナルモビリティの設計」, 第 54 回自動制御連合講演会講演論文集 CD-ROM, pp. 1132-1137, (2011.11)
- ・ 小島昇, 小林義光, 奥川雅之, 加藤雅大:「自己復元機構を有する倒立振子型移動ロボットにおける傾斜角推定」, 第 54 回自動制御連合講演会講演論文集 CD-ROM, pp. 754-759, (2011.11)
- ・ 奥川雅之, 高田祐治, 渥美辰哉:「スマートワッシャによるボルト緩み評価を目的とした適応オブザーバを用いたスーパーバイザシステムの検討」, 第 10 回評価・診断に関するシンポジウム講演論文集, pp. 65-70, (2011.11)
- ・ 奥川 雅之, 加藤 悠記, 加藤 雅大, 大道 拓磨:「ツアーガイドロボットにおける展示物識別と発話機能」, 第

- 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp. 2164-2167, (2011.12)
- ・ 加藤雅大, 奥川 雅之, 小林 義光, 北川 翔也, 中川 敬太:「自己復元機構を有する倒立振子型移動ロボットにおける重心移動制御および姿勢角測定」, 第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp.931-934, (2011.12)
 - ・ 大道拓磨, 奥川 雅之:「リアルタイム地震情報を利用した災害時避難行動支援ロボットのユニバーサルな情報伝達方法の検討」, 第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp. 1302-1305, (2011.12)
 - ・ 吉村卓真, 奥川 雅之, 暮石 光博:「着座式車輪倒立振子型パーソナルモビリティの搭乗姿勢および操作方法の検討」, 第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp.967-970, (2011.12)
 - ・ 坂本典之, 奥川雅之:「オドメトリによる自己位置推定を利用したポーターロボットの人追従制御」, 第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp.1064-1067, (2011.12)
 - ・ 三輪, 昌史, 二井見 博文, 奥川 雅之:「レスキューロボットコンテスト実行委員会, 第 11 回レスキューロボットコンテストにおけるレスキューロボット操縦システムと管理方式」, 第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp.1196-1199, (2011.12)
 - ・ 寺西大, 土井 智晴, 福祉科学研究会, 奥川 雅之:「レスキューロボットコンテスト・シーズジャンボリー 2011 in KOBE の実施報告」, 第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp. 1209-1211, (2011.12)
 - ・ 土井智晴, 奥川雅之, 山内仁, 高森年, 大坪義一, 衣笠哲也:「ICT 技術を用いた消防隊員遠隔支援用レスキューベストの開発 第 1 報: 研究概要と平成 23 年度研究計画」, 第 12 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2011) 論文集 DVD-ROM, pp. 58-59, (2011.12)

【小池則満】

- ・ 小池則満:「ヘリコプター救急を支える離着陸場整備のあり方」, 土木計画学研究・講演集, vol43, CD-ROM(60),(2011.5)
- ・ 小池則満, 正木和明:「5 年目を迎えた緊急地震速報を用いた大学キャンパスにおける避難訓練」, 土木学会第 66 回年次学術講演会講演集, I-405,(2011.9)
- ・ 小池則満:「ヘリコプター離着陸への抵抗感に関する調査」, 日本航空医療学会雑誌, vol. 2, No.2, p160. (2011.11)
- ・ 今井 裕太郎, 小池則満:「スーパー伊勢湾台風襲来時における海拔ゼロメートル地帯の事前広域避難計画の検討」, 平成 23 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp365-366,(2012.3)

【山本義幸】

- ・ Tomohito Asaka, Keishi Iwashita, Katsuteru Kudou, Hisao Fujii and Yoshiyuki Yamamoto:「Change Detection Method for Landslide Area using RGB Color Composite Image of SRTM and ALOS/PALSAR InSAR DEM: A Case Study of the Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake in 2008」, 2011 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS), pp. 1977-1980 (2011. 8)
- ・ 朝香智仁, 落合実, 工藤勝輝, 岩下圭之, 山本義幸:「航空レーザ測量成果を利用した東北地方太平洋沖地

震による津波浸水域の評価：千葉県旭市を対象として」, 日本リモートセンシング学会第 51 回学術講演会講演論文集, pp.179-180 (2011. 11)

- ・ Yoshiyuki Yamamoto, Yukihiro Suzuoki, Tomohito Asaka, Sadayoshi Aoyama, Keishi Iwashita, Katsuteru Kudoh : 「ALOS/AVNIR2 Band Reflectance Characteristics of Buildings in Land-use Zones: A Case Study of Nagoya City」, ASPRS ANNUAL CONFERENCE 2012, (2012. 3)

【小橋勉】

- ・ 小橋勉, 建部謙治 : 「震災対応と BCP 概念図：その意味と活用に向けての考察」第 40 回日本経営診断学会中部部会 (於：愛知工業大学) (2011 年 9 月)
- ・ 小橋勉 : 「BCP(事業継続計画)の考え方と導入に向けての一考察」組織学会中部支部 (主催) 日本情報経営学会中部支部 (共催) 特別部会 (於：愛知学院大学) (2012.3)

【王 欣】

- ・ Xin Wang, Kazuaki Masaki, Kojiro Irikura : 「Shear-Wave Velocity Evaluation from Microtremor Records Measured in a Damaged Nine-Story SRC Building」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, ポスターセッション SSS023-P03, 2011 年 5 月 .
- ・ 王欣, 正木和明, 入倉孝次郎 : 「2008 年中国四川地震における半壊レンガ造住宅の S 波伝播速度の評価」, 日本地震学会 2011 年秋季大会, ポスターセッション P2-37, (2011.10) .
- ・ 王欣, 正木和明, 入倉孝次郎 : 「常時微動データを用いた建物システム, 上部構造, 基礎と地盤の相互作用の応答特性の抽出」, 日本地震工学会大会—2011 梗概集, pp. 126-127, (2012.11)

【倉橋奨】

- ・ 倉橋奨, 入倉孝次郎 : 「東北地方太平洋沖地震における震源モデルの検討」, 日本地震学会 2011 年秋季大会講演予稿集, P2-26, (2011)
- ・ 倉橋奨, 入倉孝次郎 : 「2008 年 Wenchuan 地震における震源モデルの改良」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, SSS023-P10, (2011)
- ・ 倉橋奨, 正木和明, 入倉孝次郎 : 「震源域の広がりを考慮した緊急地震速報の高度化」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, HDS030-06, (2011)

【廣内大助】

- ・ 鈴木康弘, 石黒聡士, 碓井照子, 海津正倫, 後藤秀昭, 杉戸信彦, 中田 高, 廣内大助, 堀 和明, 松多信尚, 渡辺満久, 宇根 寛 : 「2 万 5 千分の 1 津波被災マップ」, 月刊地理, 56-6, 49-57 (2011)
- ・ 杉戸信彦, 鈴木康弘, 岡田篤正, 金田平太郎, 東郷正美, 中田高, 廣内大助, 渡辺満久, 内田主税, 岐阜県防災課 : 「1:25000 岐阜県活断層図」とそのオンライン公開, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会 (2011.5)
- ・ 吾妻崇, 杉戸信彦, 堤浩之, 廣内大助, 細矢卓志, 眞柄耕治, 伊藤太久 : 「 邑智瀧断層帯石動山断層の最新活動時期に関する検討」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会 (2011.5)
- ・ 堤浩之, 石山達也, 鈴木毅彦, 廣内大助, 今泉俊文, 鎌滝孝信, 阿部恒平 : 「断層変位地形とボーリングコアの解析に基づく越後平野南東縁の活構造」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会 (2011.5)
- ・ 石山達也, 廣内大助, 堤浩之, 鈴木毅彦, 丸島直史, 越後智雄, 今泉俊文, 佐藤比呂志, 加藤直子 : 「東北日本南部の活構造」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, (2011.5)

- ・ 松多信尚, 後藤秀昭, 堀和明, 鈴木康弘, 廣内大助, 海津正倫, 田村賢哉, 杉戸信彦, 地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム:「東北地方太平洋沖地震に伴う津波被災2万5千分1マップ(多賀城~旭)」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会 (緊急セッション) (2011.5)
- ・ 松多信尚, 廣内大助, 杉戸信彦, 竹下欣宏 (依頼講演):「3月12日長野県・新潟県県境付近の地震活動に伴う地変と被災の状況」, 日本活断層学会 2011 年度秋季学術大会シンポジウム, (2011.11)
- ・ 杉戸信彦, 松多信尚, 廣内大助, 石村大輔, 斉藤真, 丸山陽央:「1847年善光寺地震に先立つ長野盆地西縁断層帯の3回の活動間隔」, 日本活断層学会 2011 年度秋季学術大会, (2011.11)
- ・ 吾妻崇, 杉戸信彦, 堤浩之, 廣内大助, 細矢卓志, 眞柄耕治, 伊藤太久:「邑智潟断層帯石動山断層の最新活動時期に関する検討」, 地質調査総合センター (GSJ) 第18回シンポジウム (2012.1)
- ・ 廣内大助, 堀和明, 丸山陽央:「平成23年9月の台風15号による名古屋市の浸水被害」, 2012年日本地理学会春季学術大会, (2012.3.28)
- ・ 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム (廣内大助ほか), 杉戸信彦:「空中写真の実体視判読に基づく2011年3月11日東北地方太平洋沖地震の津波浸水域の認定」, 2012年日本地理学会春季学術大会 (2012.3.28)
- ・ 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム (廣内大助ほか), 松多信尚:「2011年東北地方太平洋沖地震の縮尺1:25000広域津波被災マップ:空中写真実体視判読による検討」, 2012年日本地理学会春季学術大会 (2012.3.28)
- ・ 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム (廣内大助ほか), 鈴木康弘:「東北地方太平洋沖地震による津波被災マップの経緯と意義」, 2012年日本地理学会春季学術大会 (2012.3.28)

【阿部亮吾】

- ・ 阿部亮吾:「フィリピン系移民の多文化共生と都市実践」, 2011年度中部都市学会研究会 (於:愛知県芸術文化センター) (2011.7)

【佐口浩一郎】

- ・ 佐口浩一郎, 正木和明:「愛知県三河地域における3次元地下構造モデルの構築と地震動シミュレーション」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集, SSS023-10 (2011.5)
- ・ 佐口浩一郎, 倉橋奨, 正木和明, 入倉孝次郎:「経験的グリーン関数法と3次元有限要素法による2009年駿河湾の地震の強震動シミュレーション」, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集, SSS023-P11 (2011.5)
- ・ 佐口浩一郎, 正木和明:「レシーバー関数法を用いた多点同時インバージョンによる愛知県三河地域における地下構造の推定」, 平成23年度土木学会全国大会, 第66回年次学術講演会, I-459 (2011.9)
- ・ 佐口浩一郎, 倉橋奨, 正木和明, 入倉孝次郎:「深層および浅層の3次元構造を考慮した2009年駿河湾の地震の強震動シミュレーション」, 日本地震学会 2011 年度秋季大会, P2-49 (2011.10)